

# OLD & NEW WAKAYAMA SWEETS



上 / 「グリーンソフトの味を持ち帰りたい」という要望から生まれたグリーンソフトロール。  
中 / 老舗として、お茶も豊富に扱う。  
下 / 本社併設の飲食店「グリーンコーナー本店」。ソフトのほか、天かす入りのラーメンも和歌山のソウルフードとして人気。



香ばしい抹茶と甘さをおさえたクリームが絶妙にマッチ。カップを上下させながらひねりをきかせる巻き方も発売当時のままだ。

## 老舗茶屋の誇る元祖抹茶ソフトクリーム 和歌山の定番スイーツとして60年

【グリーンソフト】和歌山市

淡い緑色のクリームを一口舐めると、さっぱりした甘味と爽やかな抹茶の風味が広がる。安政元年（1854年）創業の老舗茶屋が誇るグリーンソフトは、多くの和歌山県民に親しまれ、県外に転出した人も帰省の度にこのソフトを食べたくなるという。

発売は、高度経済成長期の昭和33年。暑さでお茶の消費が落ち込むお茶屋の夏枯れ対策として生まれた。ソフトクリーム自体が珍しく、さらに抹茶味のスイーツ自体がまだ無かった時代。誰もが初めての味ということもあり、出足はふるわ

なかった。しかしこの日に無料配布するなどの地道なPRが実を結び、いつしか地元を代表する味覚に。しかし抹茶を石臼で挽くなど、味へのこだわりは今も変わらない。

その後は通販も可能な冷凍されたグリーンソフトや、飴など派生商品も登場。平成27年には、単なる抹茶味クリームのロールケーキではなく、グリーンソフトそのものを巻いたようなグリーンソフトロールが誕生した。グリーンソフトのデビューから60年。緑のご当地スイーツは、これからも長く愛され続けていくに違いない。

### NOSTALGIC MEMORIES



〔元グリーンコーナー本町店〕

上> 和歌山市最大の繁華街「ぶらくり丁」にあったグリーンコーナー本町店。買い物帰りにグリーンソフトを食べるのは、地元の子どもたちのささやかな贅沢だった。

下> お茶葉などが並ぶ店頭を抜け、少し奥まった所にあったグリーンコーナー。



〔昭和39年当時のグリーンコーナー〕



#### 玉林園 (ぎょくりんえん)

場所 / 和歌山市出島48-1 (本社)  
電話 / 073-473-0456